

日本地方自治研究学会

第 36 回全国大会プログラム

統一テーマ

「公共の新しい姿：社会は公共の
役割をどこまで果たせるか」

2019 年 9 月 22 日（日）～ 23 日（月・祝）

学校法人 大阪学院大学

後援：アサヒビール株式会社吹田工場

日本税理士会連合会

会場：大阪学院大学正雀キャンパス

大阪府吹田市岸部南二丁目 36 番 1 号

ご挨拶

来たる令和元年 9 月 22 日(日)・23 日(月・祝)、大阪学院大学正雀キャンパスにて日本地方自治研究学会第 36 回全国大会を開催させていただき運びとなりました。

統一テーマは『公共の新しい姿』、サブタイトルを「社会は公共の役割をどこまで果たせるか」とし、あえて「新しい公共の姿」とはいたしませんでした。

この統一テーマに関して、初日の「シンポジウム 1」の基調講演では同志社大学の新川達郎先生より「公共のあり方に関する新しい潮流」をお話いただき、パネリストに宮城大学の石田祐先生をお招きし、星野会員と手塚会員と共に、幅広いお話をいただきます。コーディネーターは妹尾会員です。

その各論として、二日目の「シンポジウム 2」では「補助金・助成金事業の円滑な経済的自立のためのブランド作り」というテーマで、有馬温泉観光協会会長・御所坊グループ社長の金井啓修氏、福井の完全民営まちづくり会社 EKIMAE MALL 代表理事の竹本祐司氏、京阪電車の「おけいはん」や神戸親和女子大学の「先生になるなら、親和！」を手掛けてきたコピーライター・クリエイティブディレクターの田中有史氏よりお話をいただきます。

「自分たちのまちは、自分たちでまもる。」という地方自治の理念と実際に関心がおありの方にご参考となりましたら幸いです。

また今回は「研究部会セッション 1～3」と「自由論題セッション 1～4」に加えて、新たに「企画型セッション 1：破綻と再生」「企画型セッション 2：不動産関連税制の課題」を設け、それぞれ 2 名の新会員よりご報告をいただきます。

さらに「チュートリアルセッション：採択される査読付き論文の基本条件」を開催して、編集委員会の野田委員より査読付き論文執筆の具体的な手法や勘所をお話いただきます。

最後に、大会参加費は一般会員・非会員共に二千元、学生会員は千円、初日の懇親会費は五千元となっております。一人でも多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

大会実行委員長 鎌苅 宏司（大阪学院大学）

※すべてのプログラムは「CPE（継続的専門研修）」及び「日本税理士会連合会が後援する研修」の認定を受けており、受講された時間は公認会計士並びに税理士の皆様の研修受講時間に算入されます。大阪学院大学創立 50 有余年、税理士となられた卒業生 900 名余の皆様にも会場を提供できることは大きな喜びです。

大会参加費・懇親会費等について

第 36 回全国大会の大会参加費・懇親会費等は、以下の通りです。

大学からそれぞれ徒歩 5 分の JR 東海道本線「岸辺」駅および阪急京都線「正雀」駅周辺にホテルや飲食店があります。

大会参加費（9 月 22 日・23 日共通）	一般会員	2,000 円
	学生会員	1,000 円
	非会員	2,000 円
懇親会費（9 月 22 日（日）17：00～： 吹田・江坂「翠園」8 品		5,000 円
お弁当代（9 月 22 日：旬屋じょう崎） 理事会出席者を除く		1,000 円
お弁当代（9 月 23 日）		1,000 円

シンポジウム 1	9 月 22 日（日）14：00～17:00 「公共の新しい姿：社会は公共の役割をどこまで果たせるか」	一般公開 （参加費無料）
シンポジウム 2 （申し込み不要）	9 月 23 日（月・祝）13：00～15:10 「補助金・助成金事業の円滑な経済的自立のためのブランド作りについて」	一般公開 （参加費無料）

参加される方は、同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、**9 月 18 日（水）までにお振り込みください**。お振り込みをもちまして、参加の申し込みとさせていただきます。それ以降の方は、当日受付で大会参加費をお受け致します。

念のため、**当日は「払込金受領証」またはその写しをご持参ください**。

なお、振り込まれました大会参加費等については、不参加の場合でも返金に応じかねますので、あらかじめご了承ください。

名刺のご持参について（お願い）

ご参加の際には名札用として、お名刺を 1 枚お持ちいただきますようお願い申し上げます。

第 1 日 目 9 月 22 日 (日)

【受付】8時30分～ 2号館地下1階(会員控室：2号館2階01教室・02教室、地下1階03教室)

第1会場（2号館地下1階01教室） 研究部会セッション1

「コンピュータ化に伴う地方自治をめぐるパラダイムの変化とその対応」

(2019～2020年)

座長：川島 哲（金沢星稜大学）

9：10 ～ 9：30	テーマ 当部会のテーマ「コンピュータ化に伴う地方自治をめぐるパラダイムの変化とその対応」を研究する趣旨とその内容 報告者 宗岡 徹（関西大学）
9：30 ～ 9：50	テーマ 地方自治におけるイノベーションとリーダーシップ 報告者 小松 陽一（前関西大学）
9：50 ～ 10：10	テーマ 地方自治における情報技術の活用と行政サービスについて 報告者 小林 信宏（福岡市役所）
10：10 ～ 10：25	討論者 井戸田 博樹（近畿大学）
10：25 ～ 10：35	（休憩）
10：35 ～ 10：55	テーマ 自治体業務におけるテクノロジーとデータ活用手法の開発 報告者 多名部 重則（神戸市役所）
10：55 ～ 11：15	テーマ 日本の防災・減災革命に向けた情報技術の活用と地方自治 報告者 松田 学（元衆議院議員・元東京大学）
11：15 ～ 11：30	討論者 藤原 直樹（追手門学院大学）

（報告100分、討論・質疑等40分）

第2会場（2号館地下1階02教室） 研究部会セッション2

「沖縄振興における高率補助と予算一括計上方式の意義と課題」（2018～2019年）

座長：和田 尚久（東洋大学）

10：00 ～ 10：20	テーマ わが国の地域振興政策と沖縄振興政策の位置づけ 報告者 高 哲央（明治大学）
10：20 ～ 10：40	テーマ 沖縄振興予算における高率補助の意義と課題 報告者 仲地 健（沖縄国際大学）
10：40 ～ 10：50	（休憩）
10：50 ～ 11：10	テーマ 沖縄振興における予算一括計上方式の意義と課題 報告者 前村 昌健（沖縄国際大学）
11：10 ～ 11：30	討論者 石田 成則（関西大学）

（報告60分、討論・質疑等30分）

第3会場（2号館地下1階04教室） 企画型セッション1

「破綻と再生」

座長：千葉 貴律（明治大学）

第1報告 9:10～9:50	テーマ 「ローカルベンチマーク」の中小企業融資への適用可能性について 報告者 石川 清英 （大阪信用金庫） 討論者 奥 和義 （関西大学）
第2報告 10:00～10:40	テーマ 経営者の再生型リーダーシップ開発と中小企業支援策—中小企業再生時の経営理念創成プロセスとの関係から— 報告者 佐竹 恒彦 （敬愛大学） 討論者 小川 長 （尾道市立大学）

（報告25分、討論10分、質疑等5分）

第4会場（2号館3階01教室） 自由論題セッション1

座長：渡辺 修朗（城西国際大学）

第1報告 9:10～9:50	テーマ 行政改革と行政評価—ひとつの地方公共団体の事例から— 報告者 藤田 大輔 （関西大学ガバナンス研究科） 討論者 佐藤 亨 （日本生産性本部）
第2報告 10:00～10:40	テーマ 自治体の公共意思決定プロセスの課題～自治体の政策実行段階における政策判断と予算配分の壁～ 報告者 涌井 康宣 （瀬戸市役所） 討論者 畑 正夫 （兵庫県立大学）
第3報告 10:50～11:30	テーマ 政策評価・行政評価実施における評価人材の養成・確保に関する検討—『データ収集方法ワークブック』を用いた研修プログラムの提案— 報告者 茂木 康俊 （広島大学） 討論者 大島 博文 （大阪成蹊大学）

（報告25分、討論10分、質疑等5分）

第5会場（2号館3階02教室） 自由論題セッション2

座長：小西 秀樹（関西大学）

第1報告 9:10～9:50	テーマ 自治体施策としての子ども会議の意義と役割—関西圏の自治体を事例に— 報告者 久谷 明子 （大阪市立大学都市研究プラザ若手特別研究員） 討論者 林 加代子 （㈱ソーシャル・アクティ）
-------------------	---

第2報告 10：00 ～ 10：40	テーマ 都道府県庁所在都市への集中の状況とその是正問題 報告者 山中 鹿次 (NPO法人近畿地域活性ネットワーク) 討論者 金谷 一郎 (大阪経済法科大学)
第3報告 10：50 ～ 11：30	テーマ 日本公認会計士協会 公会計委員会研究報告第24号「地方公会計の論点と方向性」の概要について 報告者 中川 美雪 (日本公認会計士協会) 討論者 大森 明 (横浜国立大学)

(報告25分、討論10分、質疑5分)

11：30 ～ 13：00 昼食・休憩 (会員控室：2号館2階01教室・02教室、地下1階03教室)

(11：45 ～ 12：45 理事会 (2号館地下1階04教室))

13：00 ～ 14：00 会員総会 (2号館地下1階02教室)

14：00 ～ 17：00 シンポジウム 1 (一般公開) (2号館地下1階02教室)
司会：和田 聡子 (大阪学院大学)

14：00 ～ 14：25 オープニング (一般公開) (2号館地下1階02教室)

開会挨拶	橋本 行史	(日本地方自治研究学会会長・関西大学教授)
来賓挨拶	後藤 圭二氏	(吹田市長)

14：30 ～ 17：00 シンポジウム 1 (一般公開) (2号館地下1階02教室)

テーマ 「公共の新しい姿：社会は公共の役割をどこまで果たせるか」

14：30～15：20 基調講演：「公共のあり方に関する新しい思潮」
新川 達郎氏 (同志社大学政策学部教授)

15：30～16：50 パネルディスカッション

パネリスト 新川 達郎氏 (同上)
石田 祐氏 (宮城大学事業構想学群准教授)
星野 泉 (明治大学政治経済学部教授・会員)
手塚 崇子 (川村学園女子大学教育学部准教授・会員)
コーディネーター 妹尾 克敏 (松山大学法学部教授・会員)

17：00 ～ 19：00 懇親会

会場：17号館1階「職員食堂」(正雀キャンパス西側「時計台」のある建物の1階です)

第2日目 9月23日（月・祝）

【受付】8時30分～ 2号館地下1階(会員控室：2号館2階01教室・02教室、地下1階03教室)

第1会場（2号館地下1階02教室） 研究部会セッション3

「次世代型住民参加に必要な組織とマネジメント」（2018～2019年）

座長：上田 誠（京都市立芸術大学）

9：10 ～ 9：25	テーマ 次世代型住民参加の概念、組織、マネジメントー研究部会解題および検討枠組み 報告者 初谷 勇（大阪商業大学）
9：25 ～ 9：50	テーマ 住民参加に対応する自治体組織の編成 報告者 山之内 稔（宮崎県職業能力開発協会）
9：50 ～ 10：15	テーマ 地域住民組織における新たな住民参加の可能性 報告者 有馬 晋作（宮崎公立大学）
10：15 ～ 10：30	討論者 涌井 康宣（瀬戸市役所）
10：30 ～ 10：35	（休憩）
10：35 ～ 11：00	テーマ 次世代型住民参加と行政手続：住民参加適格論ー空き家対策を例にー 報告者 上拂 耕生（熊本県立大学）
11：00 ～ 11：15	テーマ 次世代型住民参加と官民連携：住民参加の拠点形成ー多世代交流型住宅ストック活用推進事業を例として 報告者 明石 照久（熊本県立大学）
11：15 ～ 11：30	討論者 樋口 浩一（関西大学）

（報告105分、討論・質疑等35分）

第2会場（2号館地下1階04教室） 企画型セッション2

「不動産関連税制の課題」

座長：石田 和之（関西大学）

第1報告 9：10 ～ 9：50	テーマ 不動産税制の現状と改正後の課題 報告者 相川 眞一（大阪学院大学） 討論者 大下 昌宏（税理士）
第2報告 10：00 ～ 10：40	テーマ 不動産相続の評価事例研究 報告者 三原 一洋（日本橋鑑定総合事務所） 討論者 半谷 俊彦（和光大学）

（報告25分、討論10分、質疑等5分）

第3会場（2号館地下1階01教室） 自由論題セッション3

座長：吉田 幸雄（㈱吉田企画）

第1報告 9:10～9:50	テーマ 市町村の自治の積極性が都道府県-市町村間関係に与える影響の一考察 報告者 横田 早紀（同志社大学大学院） 討論者 石原 肇（大阪産業大学）
第2報告 10:00～10:40	テーマ 自治体農政の展開と農協—広島県における果樹農業振興策に着目して— 報告者 内田 龍之介（関西大学） 討論者 永井 真也（室蘭工業大学）
第3報告 10:50～11:30	テーマ 自治体中小企業政策部門の実施体制の変化—担当職員数と専門性の観点から— 報告者 近藤 健一（兵庫県議会事務局調査課） 討論者 梅村 仁（大阪経済大学）

（報告25分、討論10分、質疑等5分）

第4会場（2号館3階02教室） 自由論題セッション4

座長：大水 善寛（城西大学）

第1報告 9:10～9:50	テーマ 若者が参加するまちづくりの現状と課題—舞鶴市大浦地区を事例に— 報告者 田鹿 晴香（同志社大学大学院） 討論者 石井 雅章（神田外語大学）
第2報告 10:00～10:40	テーマ 私立高等学校の実質無償化制度の展開と授業料の決定要因 報告者 稲岡 亮（専修大学大学院・松戸市役所） 討論者 野田 遊（同志社大学）
第3報告 10:50～11:30	テーマ 地方創生戦略のあり方の検討—地域を持続可能にする生涯学習への期待— 報告者 畑 正夫（兵庫県立大学） 討論者 稲生 信男（早稲田大学）

（報告25分、討論10分、質疑等5分）

第5会場（2号館地下1階02教室） チュートリアルセッション

「採択される査読付き論文の基本条件」

座長：関口 浩（法政大学）

11:40～12:20	テーマ 採択される査読付き論文の基本条件 報告者 野田 遊（同志社大学）
-------------	--

（報告30分、質疑10分）

12:20～13:00 昼食・休憩（会員控室：2号館2階01教室・02教室、地下1階03教室）

13 : 00 ～ 15 : 10 シンポジウム 2 (一般公開) (2号館地下1階02教室)
司会 : 和田 聡子 (大阪学院大学)

テーマ 「補助金・助成金事業の円滑な経済的自立のためのブランド作りについて」
パネリスト

金井 啓修氏 (有馬温泉観光協会会長・御所坊グループ社長)

竹本 祐司氏 (EKIMAE MALL代表理事)

田中 有史氏 (コピーライター・クリエイティブディレクター)

コーディネーター 鎌苅 宏司 (大阪学院大学経済学部教授・会員)

15 : 10 ～ 15 : 15 閉会挨拶 鎌苅 宏司 (大阪学院大学) (2号館地下1階02教室)

大会事務局

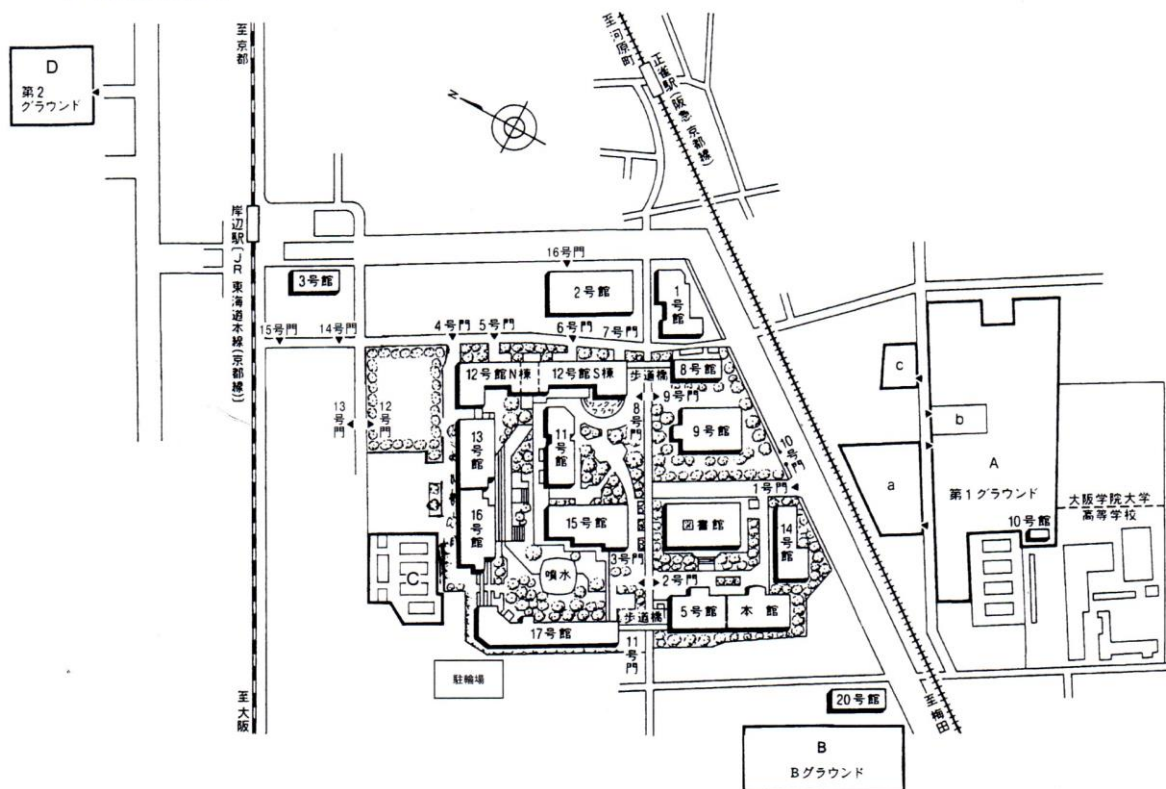
〒564-8511 大阪府吹田市岸部南二丁目36番1号

大阪学院大学経済学部 鎌苅宏司

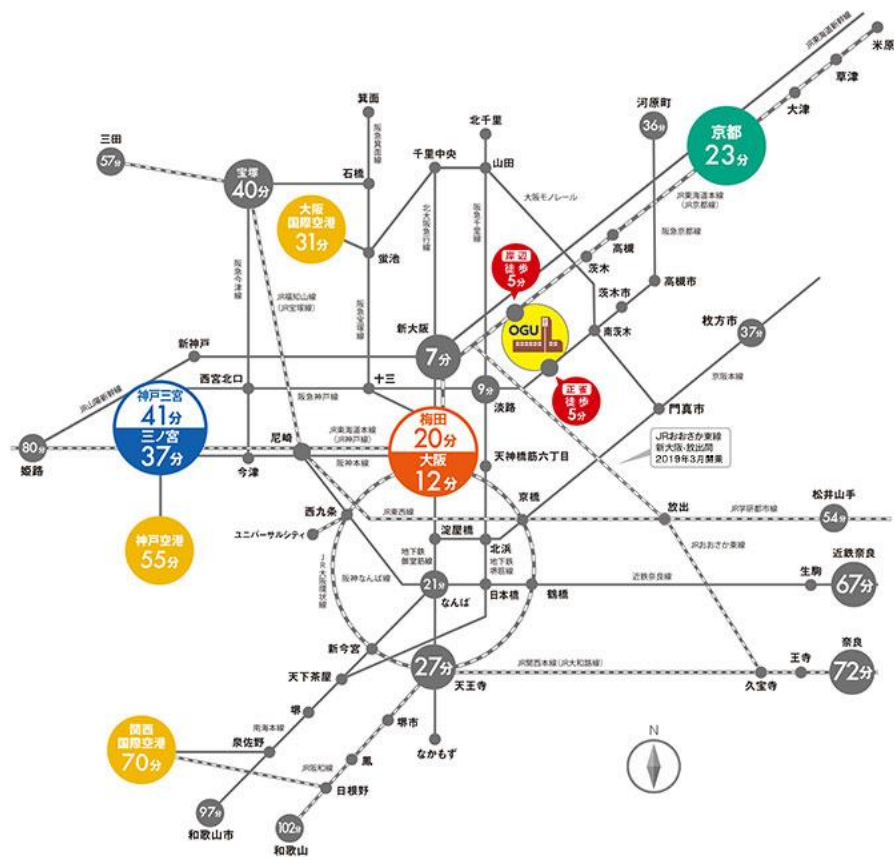
TEL:06-6381-8434 Fax:06-6382-4363

e-mail:kamakari@ogu.ac.jp

学舎配置図



岸辺駅・正雀駅に最も近いガラス張りの学舎が2号館、時計台のある建物が17号館です。



ご案内

「有馬温泉観光協会会長の講演会付き『有馬温泉前泊プラン』」

「小宿 とうじ」 ツイン利用 10,000 円（お一人様 5,000 円） シングル利用 8,500 円
（シャワー・トイレ共同、「金の湯」「銀の湯」入り放題）

「小宿 有楽」、「小宿 八多屋」

ツイン利用 22,000 円（お一人様 11,000 円） シングル利用 17,600 円
（シャワー・トイレ付き）

チェックイン：15：30 ～ チェックアウト：10：30 （価格はすべて税込）

講演：「有馬温泉の歴史と「まちづくり」の 30 年を振り返って」（入場無料）

講師：金井啓修氏（有馬温泉観光協会会長・御所坊グループ社長・国土交通省認定観光カリスマ）

司会：橋本行史（日本地方自治研究学会会長）

日時：2019 年 9 月 21 日（土）17 時～予定、夕食（お一人様税込 7,000 円）：18 時～予定

場所：有馬町内会場

申込先：有馬温泉宿泊及び夕食の予約受付（上西様）uenishi@goshobo.co.jp

付記：お申し込み有効期限は 9 月 7 日（土）までですが部屋が埋まり次第終了となります。
連泊は空室がありましたらお受けできます。

9 月 8 日以降でお申し込み希望の方は鎌苅 kamakari@ogu.ac.jp まで御一報下さい。

「開催校近隣の宿泊施設」

「岸边ステーションホテル」 <https://www.st-hotel.jp/kishibe/>
〒564-0011 大阪府吹田市岸部南 1 丁目 25-3

「カンデオホテルズ大阪岸边」 <https://www.candeohotels.com/kishibe/>
〒564-0018 大阪府吹田市岸部新町 5-45

「サニーストンホテル」 https://www.sunnystonehotel.co.jp/pc/sunny_1/
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町 10-3

付記：JR 新大阪駅周辺にも宿泊施設が多数ございます。JR 東海道本線「新大阪」駅から「岸边」駅まで 12 分です。